

小林小学校・菖蒲南中学校の統廃合等の検討に関する説明会
実施報告書

【日時等】

日時	平成29年12月10日（日）13時45分～15時40分
場所	菖蒲南中学校 体育館
出席者	約160人

【主な意見や質疑の概要】

保護者 A

- ・久喜市総合戦略では人口を増やす施策を取り組むとしているが、統廃合を進めることは方向性が市の上位計画と相反しているのではないかと。児童生徒数の見込み数も定住促進を加味していないのではないかと。
- ⇒市では、全庁的に定住促進に取り組んでいるが、本市の人口減少は課題としてもとらえている。一方、現実問題として学校の小規模化に対してどのような教育環境が必要か検討するものである。
- ・小林小学校や栢間小学校の歴史的背景を考慮せずに統廃合を検討することは上位計画と相反するのではないかと。

地域住民 A

- ・教育委員会は、学校統廃合の検討が地域にとって非常に関心が高いことを認識すべきだ。児童数の減少は10年前にも分かっていたことなのに、なぜその時には行わなかったのか。市町合併がなければ、学校統廃合の話はなかったのではないかと。小林小学校の子どもは地域で育てている。教育委員会は地域のことを考えるべきだ。今後は、きめ細かな説明会を行い、住民が納得できるように進めてほしい。
- ⇒今後もきめ細かな説明を行っていききたい。

地域住民 B

- ・小林小学校の以前は寺子屋で5、6人だったが、立派な人が出ている。ある市では市営住宅に若者を優先的に入居させているという。調整区域では、家が建たない。行政として若者を増やす施策をすべきではないかと。

地域住民 C

- ・学校統廃合はどれほど重大なことか、市長にも来ていただきたかった。この説明会は、学校統廃合ありきなのか。
- ⇒ありきということではなく、どのようにして子どもたちの教育環境を整備していくか、これから皆様の意見を伺いながら検討を進めていく。
- ・デメリットだけを考えるのではなくメリットも考えてほしい。人口を増やすという考えが先ではないかと。

保護者B

- ・統合ではなく、学区の見直しや調整区域を外すなど、残すことを前提とした考えはできないのか。

⇒学区の見直しは、相手の関係者の意見や地域の歴史も考慮する必要があると考える。また、調整区域の見直しには、県との協議が必要であり、市だけでは対応が難しい。

- ・少子化等の問題は、市だけで解決できないのであれば、県や国に働きかけるべきではないか。学区については栢間小も小林小にも歴史がある。

⇒歴史があることは認識しており、そのようなことも含めて検討していきたい。

地域住民D

- ・市町合併以来、小林、栢間地域は取り残されているように感じる。子どもたちの数が減少することは以前から分かっていたこと。学校が成り立つくらいの子どもたちを確保できるようにまちづくりをするように、教育委員会から行政本部へ提言してもらいたい。

保護者C

- ・統廃合は白紙撤回が可能なのか。

⇒これから検討していくものであり、現時点で決まっていることではない旨を説明

地域住民E

- ・地域が成り立っているのは、学校があり、子どもたちがいるからである。行政はなぜ子どもを増やす努力をしてこなかったのか。農業振興地域はいつまで続くのか。

保護者D

- ・何年か後に統廃合という話になった場合、小学校や中学校の場所や通学方法はどのようになるのか。

⇒現時点では決まっておらず、今後、皆様の意見を伺いながら検討していきたい。

保護者E

- ・小規模校の場合、バランスのとれた教職員配置がなぜ困難なのか。小規模の中学校は教職員の確保が不可能なのか。

⇒教職員は学級数に応じて県から配置される。学級数によって全教科の教員が配置できない場合がある。なお、そのような場合も非常勤教員を配置しているため、子どもたちの学習に支障をきたすものではない。

- ・集団学習とは、どのような場を想定しているのか。

⇒ある学習において複数の課題に対して学び合いの場（集団学習）をつくりたいところ、人数が少ないと限られた課題の中で学習せざるを得ない場合がある。

- ・人数が少ないから40人でまとめるのではなくて、学級数を維持してほしい。自然と少人数学級となっているが、統廃合すると教育効果が望めないのではないか。

地域住民 F

- ・教育委員会と市立小・中学校学区等審議会は、地域の熱意とこの問題の重要性を理解して、検討していただきたい。

⇒審議会へは説明会の内容を報告し、慎重に審議を進めていく旨を説明

- ・説明会や審議会の答申のスケジュールなどについて

⇒次回の説明会は、学校運営協議会への報告を経て、3月頃の開催を予定してる。審議会では、答申のスケジュールも含めて検討していく。

地域住民 G

- ・教育委員会では、コミュニティスクールとして、地域と学校が協力して特色ある学校づくりを進めている。一方、学校統廃合は、このことと逆の方向性に働いていると思う。

⇒子どもたちのより良い教育環境を整えたいという視点では同様と考えている。

- ・現役の保護者の意見を汲み取ってほしい。

⇒説明会のやり方も工夫していきたい。

地域住民 H

- ・小林小学校は地域の拠点である。学校がなくなると小林地域の存続が不安になる。統廃合ありきではなく、まずは、若い人が子育てしやすい地域づくりを考えてほしい。

地域住民 A

- ・栢間小学校の隣地に県の公社が子育て世帯の住民を呼び込むために土地を買い取ったようだが、現在は太陽光パネルが設置されているが、その経緯を知っているか。

⇒今後、内容を確認する。

学校統廃合等の検討に関するアンケート結果

回答数	108人
性別	男性 37人 女性 54人 未回答 17人
年齢	30代 31人、40代 41人、50代 10人、 60代 15人、70代 9人、未記入 2人
地域	菖蒲町小林 49人、菖蒲町柴山枝郷 6人、 菖蒲町上栢間 20人、菖蒲町下栢間 31人、その他 2人
子どもの有無等	1 小・中学生以下の保護者 79人 2 上記に該当しない地域住民 29人

1 小・中学生以下の保護者の方のご意見

○主に統廃合の検討に関するご意見

- ・子どものために統廃合を進めてほしい。
- ・統廃合の検討の進捗の状況はどのように知ればいいのか。
- ・スクールバス等通学費、朝早く出ないといけないのか等の心配があります。具体策を早めに提示して欲しい。／すぐに統合ではなく、改善案を考えて実践した上で検討して頂きたい。
- ・統合するとしたらどういった案があるのか知りたい。場所、スクールバス、南中に小学校がくるとしたらプール等はどうか。
- ・中学校の合併は良いと思います。現在中1の子どもが通学していますが、部活などで人数の偏りがあるので、中学生は人数が多い方が充実した活動ができると思います。気になる点としては、偏差値や平均点など、中学生は受験を主にして動いているので、その配慮をどうするのか考えてほしいです。いきなり合併ではなく、学年ごとに少しずつ移動することはできないか？／小学校については地域愛が根強いので、住民アンケート、座談会などはまめに開催して、反対が多いようなら見送ることも考えてほしいです。小学校は小さくてもいいと思うので、合併ありきではなく、増やす、残すの意見を大事にしてほしい。
- ・統廃合ありきで、具体的な時期等が決まっていると思いました。白紙ということで、たくさんの意見や質疑参考になりました。現在、小学生がいるので、全て決定してから通学方法が検討されることに疑問があります。危険な場所等があり整備が必要な場合、時間もかかると思います。説明資料に地図等もほしいです。出席できなくても資料がほしいです。
- ・小林小と栢間小を統合しても各学年1クラスにしかないのでは？／学校行事については、例えば運動会は合同でやるなど考えたらどうか？／通学に関しては、毎日のことなので子供の立場になってよく考えてほしい。もっと具体的な説明がほしい。
- ・小学校6年間1学級できたので、子供は統合してほしいと言っています。通学の面や、人数が増えることによって、1人1人目が行き届くのかを考えると、親としては考えてしまいます。途中の学年からの統合でしたら反対です。
- ・統廃合について具体的な案が聞きたいと思い説明会に参加したので、少し残念な気持ちです。反対意見もあるかと思いますが、もっと詳しい話を聞かないと賛同もできないと感じます。
- ・小学校は徒歩で通える所がよい。人が少なくなっているので増えるように努力してほしいです。もし統廃合で、遠くの学校になったら、スクールバスを使うことになり、子どもの体力も落ちると思います。できることなら統廃合はない方がいいです。
- ・中学校が遠くなるので、菖蒲南中を残してほしい。スクールバスが出るとしても、部活動をするバスというわけにはいかないのだから遠い。小林地区と栢間地区が統合すると子どもの行動範囲が広がって防犯時に危険。

- ・江面第二小学校のことも知りたいです。
- ・統廃合、廃校となる場合、その後どうするのか。撤去するにも費用がかかる。新学校を建設するにも費用がかかる。費用面等を含め検討しているのか。
- ・統廃合に反対です。小中学校は、地域に根ざし、住民の目が届く所にあるべきです。それぞれの地域の伝統や歴史を学び、地域を誇りに思いくらす教育がこの年代にはとても大切です。特に小林地区は、学校、地域、保護者の連携がうまく行われ、よい教育効果を上げているモデル校にもなりうる学校だと思えます。
- ・なくすのは簡単ですが、地域がすたれず、活性化するために学校は今のまま残して下さい。
- ・学校統廃合等の検討に関しての説明会ということですが、今日限りではないとのことですが、説明会だけで決定等、説明だけなのか、住民投票等、住民主権で行ってくれるかの今後の説明もしてもらいたかったです。
- ・1クラスが少なくなるのは理解できますが、子供たちが学校へ通う通学路（通学時間）などが遠く、長くなることは親としても心配です。／全体的に生徒数が減っていても、地域の方や保護者との関係はとても良い雰囲気だと感じていますので、できれば統廃合しないでいただきたいです。
- ・時間がかかってもみんな納得できるようにして下さい。
- ・統廃合については反対です。メリットを生かす事を考えて下さい。また、統廃合しない対策が全く検討しているように見えません。しっかりと仕事をして下さい。また、回答があいまいです。
- ・統廃合を行わなくて済む方法を考えていくことは出来ないのか！もし統廃合が行われる場合、南中に小林小学校又栢間小学校を併設することは考えられないのでしょうか。
- ・まだ、子供は1才なのですが、小学校に入学するときに小林小学校は無くなってしまうかも…と話を聞いたので、心配になり本日参加致しました。小林小学校と栢間小学校が一緒になるという話も聞きました。まだまだ具体的に決まっていなみたいなので、一安心です。
- ・スクールバスはどの辺まで出るのか？
- ・統廃合ありきの考えは反対です。小学校がなくなると地域のコミュニティがなくなると思えます。
- ・地域の児童数が減っている中で小学校がなくなると、地域の活力がなくなってしまう。適正通学距離、中学が5Kmということだが、菖蒲中へ合併となるとすると栢間地区のほとんどは5Km以内に入ってしまうと思われるため、スクールバスに乗れなくなってしまう。学習のメリット、課題等の話があったが、学習うんぬんより安全に通学できるかということの方が心配である。
- ・子ども達の通学や生活環境を考えると、今現在の小中学校の在り方が望ましいと思います。学校での学習のメリット、デメリットを読んでも、教える教師の考え方や力量が大きいと感じています。第一に子ども達のことを考え、進める・やめることを考えてほしいです。
- ・①クラス替えがない（いじめがあった場合、クラス替えによるやり直しがきかない）人間関係が固定化されてしまう。②行事等の団体行動では、大人数による集団行動がもの足りないと感じる。③勉強の面でも、大人数の中で切磋琢磨していくことで向上心が出ると思う。以上から、早急に統廃合していただきたい。
- ・今、長男の学年が男3人しかいない状態で小学校6年間を生活してきたことを考えると、人数が増えて男女の人数が均等になることはいいと思う。やはりクラス替えも体験させてあげたいし、少人数だからできることも多いと思うが、人数が増えたほうができることのほうが多いと思う。自分も、小・中菖蒲だが、子ども達のことを考えれば、母校がなくなっても何も感じない。早急に統廃合を実施していただきたい。部活動が選択可能となり、将来の子どものためになる。3Km、5Km未満の子どもは、スクールバスは出ないのか？
- ・今日は統廃合の検討に関する「説明会」としては事前の情報収集不足だと思う。教育委員会としてはできることが限られている（住民を増やす等は教育委員会の仕事ではない）と思うが、統廃合の説明をする前に小規模小学校同士の交流を増やし、人数不足による制約を解消させるようなアイデア等の案の提示も欲しかった。まず、いろいろな制約があるのなら（部活は少人数同士の学校と練習する等）本当に守らなくてはならない制約なのか、一度教えてもらいたいし、教育委員会の方は柔軟に対応して欲しい。

- ・メリット・デメリットがあるのはわかりますが、基本的には反対。特に誰かが（どこかの学年が）犠牲になってしまうにしても、我が子が途中で学校が変わってしまうという思い出が半減してしまうのは悲しいし、淋しいと思う。
- ・今の所、困っていることが無いので、どちらとも言えない。
- ・統廃合を行う対象とすべき学校ではないと思う。地域と学校との結びつきが強いし、少人数の学校でもうまくいっているモデルケースのような学校
- ・今のままで統廃合しなくても良ければ一番いいですが、統廃合が決まった場合は従います。
- ・「統廃合する」前提の説明会だったように感じた。／地域住民の声をしっかり聞いてもらいたい。視聴覚室のつもりで来たら体育館。寒さ対策をして来なかったのも、後半冷えすぎてちゃんと話を聞いていられなかった。／今後の具体的なプランがあるから色々な噂が流れているのではないのでしょうか。やはり、行政側としては「ありき」の話なんだと聞きました。
- ・すでに統廃合が決定されているかのような説明会に感じた。統廃合を白紙にすることが可能なかの説明を次回はお願いしたい。また、アンケートには、賛成か反対かを記載する項目が無く違和感がある。住民アンケートを取るべき。はっきり予算が無いから廃止と言うべき。
- ・参加者の中から他の方の意見や質問が聞けて、参加して良かったです。私も感じてましたが、調整地域を何とかして、他から移住してもらう方向を前向きに早急に考えてほしいと思います。
- ・統廃合にはあまり賛成ではないですが、菖蒲南中学校の部活動の事を考えると、菖蒲中と一緒にできたらいいと思います。菖蒲中に通わないとその部活動ができないのではなくて、学区をなくして2校で活動できるという形でできたらいいと思います。中学校同士の交流が大事だと思います。
- ・説明会は各学校でもやってほしい。（保護者が多く参加出来るように）／資料は前もって配布してもらえないだろうか。
- ・説明会のやり方を考えた方がいいと思う。例えば保護者対象や地域の方対象などにして頂きたい。／アンケートで出た意見、質問の返答を提示して頂きたい。
- ・統廃合は無理そうですね。
- ・通学距離、3km以内、5km以内には実際に無理があると思う。
- ・説明会の段取りが悪すぎる。／このまま残してほしい。
適正規模の基準の中の「1学年1学級であっても相当数の児童数」の相当数は具体的な数を教えて下さい。／現在、小林小学校は統廃合検討基準の①に当たると思いますが、平成33年度の2年生、3年生が1人でも増えると②になるのでしょうか。
- ・必要最低限の生徒数は必須です。統廃合はやむをえないと思います。
- ・統廃合するにあたって中学校の3年生は高校入試とかあるので、早めの対応をしてほしい。説明会もしてほしいですが、アンケートも出してほしい。登校や下校にバスとか使用できますか。不審者が出る場所があるので。小学生は皆km数だけではなく、バスを使用してほしい。
- ・通学路での安全、防犯が心配、配慮してほしい。／少人数なので部活動の選択肢が少なく統合は賛成。／統廃合後の学校跡地の活用方法を明示してほしい。／教員の人数が少なく質が低く感じる。（特に高校受験について）／老人の思い入れが強く統廃合に反対の様だが、実際に通う生徒は人数が多いことを望む。
- ・中学校生徒については多感な時期に多くの仲間と接することで、心身の発達と競争心の向上につながる。また、菖蒲小、菖蒲東小、三箇小は菖蒲中と連携した小中一貫学習の取り組みを始めたと聞いており、栢間小、小林小はそれに取り残されていると感じる。以上から菖蒲南中の菖蒲中への統合は早急に行っていただきたい。また、通学距離が遠くなる生徒（主に栢間地区）については、既存の路線バスの通学時間帯に菖蒲総合支所経由を設定していただき、定期券については市の補助とすることで比較的低コスト、又公共交通機関の活用になると思うので、ご一考いただきたい。
- ・いつから統廃合になるのか？早い場合はいつか？／通学の手段／小学校と中学校のどちらから統廃合するのか？同時なのか？優先はどちらからか？
- ・5才の子どもが3年生のとき合同のクラスになってしまうので、地域の方々の気持ちも大切だが、未来の子ども達が幸せになれる様に、進めてもらいたい。出来れば、早めに答えを出してほしいです。

- ・南中は小規模化により人数が少ないため、部活動の種類が限定されてしまっています。スポーツが得意な子どもが入りたい部活がなく、最終的に陸上部に入らざるをえない状況です。中学の部活動の経験は子どもたちにとっても大切です。菖蒲中学校と合同に部活動をやり、子どもの未来を考えながら学校統廃合の検討を進めていって下さい。
- ・第1は子ども達のためを考えた検討を進めて下さい。地域住民の方々にも支えられ、子どもも成長していることを実感しました。少人数でも子ども達はのびのび育っていますので、現状を続けていけるようにお願いします。今後の検討会では、現状維持していくにはどれくらいのお金がかかって、いかに続けていくことが大変な事か皆が納得できる内容を用意してほしいです。
- ・1番思ったことは、話の内容がうすいことです。市の人口（子どもの人口）が少なくなることは分かっていた話なので、前々から話を進めてほしかったです。具体的な話をしてほしかったですし、資料もほしかったです。保護者が1番聞きたい事は、①小学校・中学校が合併することは、いたしかたない事と思います。合併するなら場所はどこ？交通手段は？→自転車で通うなら、安全な道を通りたい。（中学校）スクールバスについて可能か？②うちの地域は子供会がないので、地域の人と交流する場をもっと設けてほしい。③孤立しない街にしてほしい。これからも子供達が住んでくれるような街にしてほしい。栄える協力お願いします。④地域の人からアンケートや話し合いをして、早く話を進めて下さい。時間はないと思います。次回は密な話し合いをお願いします。
- ・説明会に参加してみて、学校が一つなくなることの重みを感じた。地域住民の方の反対が多いことにおどろいた。ただ、子供の親としては、人数が増えて悪いことはないと思っている。登下校の安全面等の考慮が大変だとは思いますが。交流学校という形で、運動会や修学旅行、イベントを共にする形はできないのか？とも思う。
- ・子供たちにとって1番良い環境をしっかりと考え、検討して欲しいです。学校が遠くなった場合、通学等に親としては心配が増えます。学校に安全安心して通える環境になる様にお願いしたいです。
- ・今回の説明会の内容が不明でした。何のための説明会だったのかナゾです。まず、どのように進めていきたいのですか？地域の方の言い分も分かりますが、保護者、子どもの事を本当に思っているのか疑問です。市の考え方をまずお聞きしたいです。片道3km（小学校）徒歩でとありました。1・2年生に3kmも歩かせるのですか。お家を何時に出させて何十分歩かせるのですか。不安しかありません。

○その他、学校教育に関するご意見

- ・現状のデメリットである集団活動がしにくいという点で、小林小と栢間小の交流を増やせばよいのではないか。運動会合同や音楽発表会とか。
- ・少人数学級編成の実現という視点をもってご検討ください。
- ・人数が少ない為、部活が限定されたり、やりたいことが出来ない点は改善されたら良いと思う。しかし、登校距離などを考えるとすんなり賛成は出来ない。子供の負担が増えるということは、親の負担も増えることになります。学校のデメリットを改善することが、結果地域のデメリットになるような気がします。色々しがらみがあると思いますが、少人数のモデル校を目指してはどうでしょうか？少人数の為、地域密着でやってきた場所には人口が多い地域ではない良い所がたくさんあると思います。小中一貫という考えはないのでしょうか？いずれ一緒になるのなら、小林+栢間+菖蒲南中で一校というのも有なのかなと思います。
- ・学校は地域のコミュニティです。統合により、どこかが無くなってしまふのでは、年長者の納得は得られないと思います。子育てをしている身としては、子供たちにとって何が最善策かということであり、子供は意外と環境に順応します。3校とも施設の老朽化は著しく、少人数。地域の中心部に公立の小中一貫校のモデル校を新設していただきたい。春日部市でも検討しているようです。研究していただきたいです。
- ・少人数教育のデメリットや予算的負担ばかりでなく、メリットも全教員、子どもたち、保護者にアンケートをとって下さい。

- ・希望は自分が卒業した学校がなくなるのはいやです。／課題にクラス替えができないというのであれば規定を下げて、40人→35人とかにすればよいのでは？ 現中3の生徒数は38名なので1クラスです。40名に満たないから。この規定が35名だったら2クラスになりクラス替えが可能になります。時代にあった規定作り、人口を増やす取り組みを期待します。
- ・少人数のデメリットを聞いて、それがここに当たるのかどうか、競争心がここで育たないといけないでしょうか。ここでしか学べないことがあります。先生方は全力で子どもたちに向かいあってくれています。地域の方々との交流もあります。教育委員会の提案は数字しか見えてきません。子どもたちに対する思いを感じることができません。大人の都合としか伝わってきません。小林、栢間のように小さい地域に久喜市のように大きな規模の所を同じように考えてもらっても困ります。当てはまらないのです。小規模のメリットをカバーするようなことを、どんなことをされたのですか。全力で行ったところを教えてください。机上ではありません。実際に行動された事です。教師にすぐ聞けるから自立心が育たないと話されてましたが、本気でお話されたのでしょうか、驚きました。教育委員会の方がそのように考えておられるとは。そんなことはありません。それは先生の指導の仕方だと思います。私たちの学校ではそのようなことはありません。自分たちで考えて行動できるようにと先生方は指導して下さっています。あまりにも一般的な話ばかりでがっかりです。もう少し地域性を考えて、その場にあったお話をして下さい。一般論ではわかりません。クラスが1クラスで何がそんなにダメなんでしょうか。この地域の方たちはそのような環境です。ずっときてますが、だめな大人になっているのでしょうか。1年生に上がり1人で下校する。自分の力で下校する。これは親にとっても子どもにとってもドキドキしながら自立を見守る最初のことです。1人で帰れるのも自信になります。小さいことですが、こういうチャンスをとらないで下さい。もっと子どもに寄り添って下さい。先生方は全力で子どもたちのことを考えて動いています。先生方の努力を知っていますか。教育委員会では、どれだけ子どもたちのために動いてくれるのでしょうか。地域から小学校がなくなってしまうたら、若い人は帰ってきません。子育てがしにくい所には、実家があっても来ないと思います。問題は1つではないのです。
- ・子どもが減少していく現状で、過去に施行された法律等に合わせるのをおかしいのでは？ 今、この日本を支えていかねばならない子どもたちの健全な教育ができるよう改正して地域やその子どもたちの個性に合わせた教育の場を創るべきと思う。又、子どもやその保護者が選べる環境作りを望む。
- ・もう何年も前から少子化なのです。従来の生徒数を基準に対する適正ではなく、現状の生徒数をふまえた適正に変えて下さい。学校を統合、減らすことではなく、活かすこと、場合によっては学校のあり方から考え直して下さい。

○主に地域の振興に関するご意見

- ・調整区域を外す等、人口を増やす方針を考えて欲しい。住宅が建てづらいので改善して欲しい。
- ・とても大勢の前では発言できません。1人1人たくさん言いたいこと、お願いしたいことはあると思います。より多くの人にアンケートをとってください。調整区域に関しては本当にどうかしてほしい。他の課の担当かと思いますがよろしくお願ひしたい。／栢間地区では住みやすい町づくり、人口を増やす努力をされているようにはみえない。もっとこの地域に力を入れてほしい。そうしたら数年後に人口は増えると思う。
- ・質疑応答でしゃべっていた男性に賛成です。若者が入ってこられるように色々対策をとってほしい。
- ・久喜市の諸計画の中で、この基本方針の位置づけが分かりません。その要因は、説明に児童数の推移がありますが、久喜市は総合戦略の中で、人口減少抑制施策を講じていることになっているので、この児童推移は人口減少抑制施策を踏まえたものとはなっていないように思います。これは現在の現象に割合をそのまま推計しただけですか？ 加えて、基本方針6ページの項目2の①、新たな学校としての設置の中に、創立時からの経過年数にかかわらず対等な関係とありますが、総合戦略の中の「ふるさとづくりの推進」に、地域に脈々と引き継がれてきた文化や伝統を途絶えさせないようにすることが課題ですとあります。上位計画では、伝統を重んじている一方、この方針はそんなの関係ないような書き方をしているので意味がわからないので分かりやすく説明

願います。／同じく久喜市総合戦略に、「いつまでも安心して暮らせるまちをつくる」に「地域の重要な基盤となっているコミュニティの維持・形成に積極的に取り組みます」とあり、そのために「住みやすい生活圏の形成」とあります。ご存知かと思いますが、まちづくりの基本となる範囲（生活圏）とは、小学校区をコミュニティの単位となっていて、都市計画法の描く都市像になっています。また、協働やコミュニティに関する先進自治体の最小単位も小学校区です。要は歩いて動ける範囲が小学校区だからです。今回、従来からある、小林小に関しては150年近い地域コミュニティの範囲を壊す方針は、久喜市総合政策に相反していますが、そこはどう説明されますか。／同じく総合戦略に「若者に選ばれる魅力的なまちをつくる」とあり、定住促進に取り組むこととなっています。市街化調整区域にいたっては、「既存集落の良好な環境維持を適切な土地利用促進を図るため、住宅を建築する場合の諸規定の見直しを行います」として、調整区域でも家を建てる際の手続きの見直しを行って、人口を増やして既存集落の環境維持を図る取組みとなっています。こういった取組みの成果を待たずにして、児童数の推移を主な要因として統合だとするのはあまりにも短絡だと感じます。具体的に人口を増やす施策をせずに、なにもしないで、人が減る人が減ると言い、公共施設をなくしていくのは、人が多い中心部だけよければ、市の郊外部の調整区域の人たちの生活環境はどうでもいいと捉えられます。まずは人口を増やす施策を講じるのが先であると思いますがどうですか。

- ・ 伝統のある、思い入れのある小学校を統廃合するのではなく、新しい住人を増やす、人口を増やす方向で考えて欲しい。
- ・ 住みたくても戸建てが建てられない土地が多いので、行政としてその問題を改善することを優先するべきである。／一度統廃合を行ってしまうと、それで問題が解決したと、この問題について改善努力を怠ってしまうので、改善努力をまずしてから話だと考えています。
- ・ 小林、栢間に新しい人が住めるように改善しない限り何も変わらないです。／モラージュができて、菖蒲町の在住は昔よりも知られているのは、市外の友達、知人からも分かるような状態。／栢間小、小林小それぞれが統廃合しないように努力をしてほしい。回答をした職員の言葉、説明を聞いて残念に思えた。
- ・ 学校の問題から統廃合の必要性はわかったが、その後の小中学校の跡地の活用のことや、まちづくり、コミュニティをどう維持するのか？災害時の避難場所はどうするのか。選挙会場はどうするのか等々も総合的に考えなければならない。小林小学校の場合、小林神社の「水ささら」は、小学校児童との協力関係がないと維持できないし、夏休みに小林小学校にて、子どもたちを中心に、PTA、子ども会、婦人会、愛育班、おやじの会、地元区長、消防団も協力して夏のイベント（キャンプファイヤー、カレー等）を行っている。そういうものが無くなってしまえば、コミュニティ活動ができなくなってしまう。小林地区の中心が無くなることは、地域活動の破壊となってしまう。次の手だて（どうやってコミュニティを維持させていくのかの施策）、小林、栢間地区の人口を増やす施策もセットにして、話をしてもらいたい。／栢間小学校の場合、「内藤陣屋」跡地なので、テスコ跡地（ソーラーあり）と共に陣屋を復元してはどうか？堀を掘りおこし、土るいを復元し、建物、門、壁を作ることにより、陣屋を完全復元してみてもどうか？全国的に見ても完全な敷地全体での復元...全国初となる。そして「内藤様祭り」を行えるようにしてみても？／久喜市は「伊達の鷹狩り場」をアピールしても「過去には荒地でした」をアピールしているにすぎない。ダサイ。
- ・ 現状の人口のみでの統廃合を検討するのではなく、人口をどのように増加させるか、若い子どもを持つ人をどのように増やすか考えてほしい。調整区を外すことや住民を増やすことをしてほしい。
- ・ 人数だけで統合・複式学級を検討していただきたくないなと感じました。質疑でもありましたが、人数を増やす努力・・・とても久喜市民、菖蒲町民としてはそのような努力は感じられません。実際、私は菖蒲で育ち、結婚を機に町外（伊奈）へ出ました。そして、子育てには育ったところがよいと感じ、菖蒲に家を建てようとした時に、農地から宅地に許可が下りませんでした。久喜市の辺り、鷲宮周辺だけでなく、菖蒲にももっと目を向けていただきたいと、市長に伝えたいです。
- ・ 今日の説明はあまり具体的な事は良くわかりませんでした。子どもの数が少ないなら統廃合というように聞こえました。会場でも声が上がった様にまちづくりが先だと思います。菖蒲は駅もな

く利便性が悪いので、人口が少ないからと…色々な行政の事はすべて久喜市にもっていけれ元菖蒲町は取り残されていると思います。同じ久喜市なのに!!ずるいと思っています。本当に今の児童数、生徒数の基本人数が正しいのでしょうか。個別指導が良いと言われている世の中で現状の人数がむしろ正しいのでは？

- ・同じ久喜市でも、菖蒲の栢間の方は街中よりとり残されて対応悪い（久喜、鷲宮ばかり優遇されている）。合併しなければよかった!! 駅もないしバスも少ないので人口が減少している（子育てしにくい）と思う。パーキングやバスロータリーができたので、伊奈町のように、子どもが増えるよう対策も必要かと思う。このままでは、高齢者が増え子どもが少なくて、生活する上で支える側の負担が大変。誰も住まないと思う。統廃合するにあたり、中学校は良いとは思いますが、女の子なので通学が心配。街灯が少なく夜暗い、中学校でもバス等考えてほしいです。学校がなくなるのは淋しい。統廃合だけでなく違う面からも考え必要!
- ・本日の説明会の意見では、全国的な少子高齢化や人口を増やすことの取り組みについて広く政策面でのことが多くでました。たしかに、そういう面での取り組みが成功し、地域が盛り上がっていけばよいと分かっていますが、実際、今我が子が就学しており、少人数であることのメリットを感じています。同時に、デメリットも多く感じています。子ども達にとって大切な時期であり、1日1日は過ぎ去ってしまいます。先日、菖蒲中と合同で部活動を行えた時、普段ではできない経験ができ、いつもの部活動では見られない充実感のある表情が印象的でした。まだ考えがまとまりませんが、今の気持ちです。
- ・統廃合をする事は簡単だが、まずは子どもを増やしていく努力をしてほしい。／子どもの気持ちを考えると、とてもさびしく思います。
- ・統廃合以外の対策をお聞かせいただきたい。教育委員会の今回の説明では足りません。開発等を担当する部署、又は議会、市長等の検討内容を詳しく説明願います。
- ・統合を進めるよりも人口を増やす事をお願いしたい。
- ・質問でもあったように、上位計画の「人口増」に対して、相反する統廃合であると考えます。教育委員会としての「人口増」に対しての取り組みを教えてください。
- ・教育部だけの問題ではなく、久喜市の方針になるかと思うが、小林、栢間地区の振興が不足していると感じている。例えば、都市近郊を活かした農業の振興および新規就農者の移住促進など地域の活性化を進めていただきたい。また、耕作放棄地の活用、空家の活用も進めていただきたい。／小林小学校の統廃合と中学校の統廃合を一緒に取りあげているので問題を複雑にしていると思われる。小学校の問題と中学校の問題を切り離して進めていくべきと考える。／フォレオ菖蒲から都心への高速バスを運行するとウワサを耳にしたが、栢間、小林を発着とすることで都心へのアクセス強化および地域の魅力を高めることは考えられないか。

2 小・中学生以下の保護者以外の方のご意見

○主に統廃合の検討に関するご意見

- ・この説明会前に各学校、保護者には説明はあったのでしょうか。まずはそこからではないでしょうか。保護者の意見を大切に! PTAはどのように動いているのでしょうか。
- ・統合ありきの進行方針に問題
- ・学校の統廃合ありきではない説明会なのであれば、何のための説明会なのか? 「統廃合等の検討に関する説明会」ではなく「小中学校の現状の説明会」ではないか? /学区等審議会の審議の際には、地域住民の意見を参考にするとあるが、本日の説明会での住民の意見も参考にされるのか? /地域住民へ意義と内容を説明し、相互理解を図るとあるが、現時点ではまだそこまで行っていないという認識でよいか。
- ・今日、出席者からの意見を吟味して存続を願います。
- ・統廃合ありきではないということを信じています。教育長がなぜ来ないのでしょうか。上内小学校の場合とは、古くから住んでいる我々の小中学校とは考え方が違うと思います。同じように考えてはまちがいです。

- ・①中学校の生徒数 38~41 名はクラス数（学級数）の決定に際して大きなポイントになると思いますが、県立中学や私立中学に進学する生徒はどれくらいの人数になるのでしょうか？②市立小・中学校学区等審議会の人数を教えてください。
- ・地域を無視することなく、何回も説明し、納得するまで議論してください。
- ・統廃合も大切なことですが子ども第一をお願いします。
- ・打合せを何度も繰り返してほしい。戸別のアンケートも必要かも。
- ・住民のより所としての小学校を統廃合することには強く反対します。小さくても、地域の学校として存続を。学校がなくなれば若い人たちが離れ、ますます地域から子どもがいなくなります。子育て世代の人々が魅力を感じる市独自の施策（例：給食費無料）を検討して下さい。菖蒲、とりわけ小林、栢間地域を差別、見捨てないでほしいです。

○その他、学校教育に関するご意見

- ・少人数だから統合ではなく、これをチャンスととらえ、よりきめ細かな指導、このメリットの方が統合のデメリットを上まわると考える。／地域性等を考え、その状況を考えそれを守っていったらどうしたらよいか。現在を守り、よりよい地域にすべく行政、地域一体となって今を守るといことで、考えをまとめていただきたい。

○主に地域の振興に関するご意見

- ・現役の保護者の不安・疑問を大切にしてほしい。保護者のニーズの調査をあらかじめして参考にしてほしい。担当課だけで対応できる問題ではないので、市役所内の横のつながり、連携をもって、まずは人口増加の対策にあたってほしい。
- ・今回の説明会で色々な意見が出て、問題や現状を理解できた。／栢間地区、小林地区の人口増加の方針をもっと前向きにしてほしい。
- ・若い人の人口が増えてこないの、子供の数が減ると思います。アパートや建売住宅など若い世代が住みやすい市になっていない。聞くところによると、小学校になったら別の所へ移ってしまうという人が多いと聞いています。小さい頃は親の近くに住み、あまり手がかからなくなったら（小学校にはいるころは）別の所へ引っ越す人が多い。
- ・学校統合については反対です。まず、何故そのようになったか、それは根本からちがってくるのではないかと存じます。市町村合併のようにもう少し住宅地域を増やすことを考えて開発行事等を行えば、もう少し住民が増えて子ども達が増えてくるのではないかと考えられます。今からでは間に合わないと言わず、先を見ながら検討してもらいたいと思います。
- ・次回の会議では、ぜひ市長に参加してもらいたい。家、人を増やす施策を考えてください。学校に関する小さい打ち合わせ会議でもこの統廃合検討会議を開催すること。
- ・少子化は現実問題であることは、全国的に現実となっている。その中で、地域による差は、現実にある。小規模校により統廃合せざるを得ない状況は、行政が改善を図るべきであるが、久喜市は行っていない。議会においても同じである。住宅が増加しない限り、不可能である。であるならば、それなりの対策を考えるべきである。当地区が無視されていると考えざるを得ない。市の努力の結果で住民の理解は変わるものと思う。
- ・小林地区は全調整区域であるので人口が少なくなっている。まして学校がなくなると外に出ている若者が帰ってこなくなる。市として人口増の考えをしてからにしてほしい。
- ・小林、栢間地域の児童数を増やすことを考えて下さい。
- ・小林小は存続してほしい。小林地区に若い人が越してくるような施策を考えてほしい。説明会には審議会委員の人にも出席して生の声を聞いてもらいたい。
- ・統廃合の検討と一緒に地域のコミュニティ、福祉もよく考えて、今後の地域が成り立つようにしてほしい。子供たちを増やす努力をして新住民も増やす工夫をして下さい。